



Department of
Digital Health

三重大学
大学院

医学系研究科 デジタルヘルス専攻

令和9年4月
設置構想中

※設置構想は検討中であり、今後、内容は変更される可能性があります

医学系研究科 デジタルヘルス専攻とは？

専攻

〔 課程 〕 修士課程 〔 学位 〕 修士(医工学)

設置 背景

全国の医療現場では、医療の高度化への対応や地域間の医療格差の解消のために、医療データ活用へのニーズが非常に高まっています。

国の方針も、電子カルテ情報共有サービスを始めとする医療DXが推進(『経済財政運営と改革の基本方針2024』)されていますが、様々な課題への対処が必要となる医療現場において、デジタル技術のみで医療DXをすすめることはできません。

医療現場で真に医療DXを推進していくために、デジタル技術だけでなく、医療現場の業務フローやニーズに精通し、現場で課題解決ができる人材が強く求められています。



三重大学医療DX 取組実績

三重大学は、医療DX分野において、およそ20年間にわたる実績を誇ります。

県内全域を結ぶ
高速医療画像ネットワークを独自開発

県民全体へ質の高い医療を提供するため、みえの
未来医療会議等の医療連携プラットフォームを形成

地元企業や県内全域の医療機関と協力した
救急遠隔医療連携システムを開発・運営

CT・MRI画像の転送にも対応し、クラウドネイティブな
世代紹介・逆紹介システムを地元企業と開発

本専攻で養成する3つの能力

01

医療現場のニーズを的確に
把握・理解し、デジタル技術を
効果的に活用した
ソリューションを提案できる能力

02

医療データの取り扱いや
プライバシーに関する
法規制の知識と高い倫理観

03

医療機関や地域社会と協力し、
多職種連携を通じて、
医療現場でデジタル技術の
導入と活用を推進する能力

本学が誇る医療DXの実績を基盤として、医療現場での徹底的な実践的学修を通じて

“課題解決型のデジタル医療人材”
を養成します

Curriculum

カリキュラムの特徴

01



病院での実習により
現場の課題解決を
実践的に学ぶ

- 医療従事者によるPBL型学習＊
- 医療現場でのOPT型学習＊

＊ PBL：Problem-Based Learning OPT：On the Project Training

02



学生のバックグラウンドに
応じたモデルカリキュラム
による専門知識の深化

- 工学系カリキュラム…医学的知見を修得
- 医療技術系カリキュラム…工学的アプローチの学習

カリキュラムイメージ

◆
基礎的
講義

学際分野の体系的・横断的学び
地域医療機関や企業を講師とする現場理解の深化

必修 医療分野におけるDXに必要な基礎知識、倫理など

選択

工学系向け

臨床医学概論、デジタルヘルスと社会医学、
病院情報システムなど

医療技術系向け

数理統計・多変量解析、AIの基礎理論、
ウェアラブルデバイス、情報セキュリティなど

◆
実践的
学び

PBLやOPT型学習を通じた
医療現場の課題解決プロジェクトへの参画

必修

PBL

統計解析の基礎、電子カルテからのデータ抽出など
医療従事者から提示された医療DX推進における課題に対し
解決策を提案するグループワーク

OPT

医療現場で実際のDXプロジェクトに参画し、
医療分野におけるDXの考え方や実現方法を学ぶ実習

◆
研究活動

プロジェクトの成果を評価し、
実際の医療現場や企業の課題にどのように寄与するか研究



Career path

求める人材と想定される進路

入学時

工学系学部出身者
(情報工学、電子工学、システム工学など)

情報系企業社員
(ヘルステック企業の企画職など)

医療関係企業社員
(医療機器メーカーの研究・開発職など)

医療技術者
(放射線技師、臨床工学技士など)

社会人

社会人

社会人

修了者の進路(イメージ)

医療製品やサービスの設計・開発担当者として
情報系企業、医療情報系企業へ就職



自身の勤務先において、
医療現場システムのデザイナー、
医療機関向けコンサルタントとして勤務



自身の勤務先において、医療現場の最適化を担う
デジタルヘルスコーディネーターの役割を担う



地域医療DX推進と教育を担う支援担当者の役割を担う

Admission fee & tuition

入学料・授業料

入学料

282,000円

授業料(年額)

535,800円

お問い合わせ

三重大学 企画総務部企画戦略チーム TEL 059-231-9733